

## 第2章 中間事業者の経営発展の支援に関する事業のまとめ

### 1. セミナーの開催:全国2地区

#### (1)開催結果概要(日時、場所等)

##### ①札幌会場

◆開催日時・・・●平成26年8月26日

◆開催場所・・・●サッポロファクトリーホール(西館) セミナー会場

##### ②東京会場

◆開催日時・・・●平成27年3月10日

◆開催場所・・・●東京国際フォーラム 展示ホール内 セミナー会場

#### ※2会場の内容等・・・

加工・業務用産地と実需者との交流会の会場内で、生産者や実需者からの  
話題提供及びパネルディスカッション方式による生産者や実需者との意見交換

#### ※参加予定人数・対象・・・

全国の加工・業務用野菜の産地指導者、中間事業者、実需者等  
定員:100名(札幌会場)、130名(東京会場)

#### (2)セミナーの内容

##### ①札幌会場

◇ セミナー・パネルディスカッション(13:00～15:00)

##### 【加工・業務用野菜セミナー】

###### ・話題提供(産地側)

テーマ:「加工・業務用キャベツ生産拡大へのJA鹿追の取組み」

講師:鹿追町農業協同組合 営農部 農産課 考査役 今田 伸二 氏

###### ・話題提供(実需側)

テーマ:「カット野菜製造メーカーから見た実需者ニーズ及びトップ・ランの取組み」

講師:株式会社 トップ・ラン 取締役業務部部长 本多 隆文 氏



##### 【加工・業務用野菜パネルディスカッション】

###### ●パネラー(産地側)

・鹿追町農業協同組合 営農部 農産課 考査役 今田 伸二 氏(北海道鹿追町)

・有限会社 植物育種研究所 代表取締役 岡本 大作 氏(北海道栗山町)

###### ●パネラー(実需側)

・株式会社 トップ・ラン 取締役業務部部长 本多 隆文 氏(北海道小樽市)

・株式会社彩喜 取締役社長 木村 幸雄 氏(神奈川県)

###### ●コーディネーター

・一般社団法人 JC総研 6次産業ボランティアプランナー 仲野 隆三 氏

## ②東京会場

### ◇ セミナー・パネルディスカッション(13:00 ~ 15:00)

#### 【加工・業務用野菜セミナー】

##### ・話題提供(産地側)

テーマ:「加工・業務用野菜生産拡大への“こと京都”の取り組み」

講師:こと京都株式会社 代表取締役社長 山田 敏之 氏

##### ・話題提供(実需側)

テーマ:「KIFA川越センターを拠点としたコールドチェーン物流の取り組み」

講師:株式会社 ケーアイ・フレッシュアクセス 常務執行役員 相原 徹 氏

#### 【加工・業務用野菜パネルディスカッション】

##### ●パネラー(産地側)

・こと京都株式会社 代表取締役社長 山田 敏之 氏(京都府京都市)

・株式会社Tedy 代表取締役社長 林 俊秀 氏(茨城県水戸市)

##### ●パネラー(実需側)

・株式会社 ケーアイ・フレッシュアクセス 常務執行役員 相原 徹 氏(東京都)

・倉敷青果荷受組合 カット野菜部営業課長 寺田 幸司 氏(岡山県倉敷市)

##### ●コーディネーター

・一般社団法人 JC総研 6次産業ボランティアプランナー 仲野 隆三 氏

## (3)各会場開催結果の概要

### ①札幌会場

平成26年8月26日、「第23回 加工・業務用野菜産地と実需者の交流会」(国産野菜の契約取引マッチング・フェア in 札幌)をサッポロファクトリーホール(西館)において開催し、その会場に隣接したホテル内のセミナー会場(定員100名/参加者92名)で、産地側及び実需者側からの話題提供の後、一般社団法人 JC総研 6次産業ボランティアプランナーの仲野 隆三コーディネーターと、産地側2名(鹿追町農業協同組合 営農部 農産課 考査役 今田 伸二 氏、有限会社 植物育種研究所 代表取締役 岡本 大作 氏)、実需者側2名(株式会社 トップ・ラン 取締役 本多 隆文 氏、株式会社彩喜 取締役社長 木村 幸雄 氏)によりパネルディスカッションが行われ、加工・業務用向け品質基準についての産地側・実需側双方の合意の重要性や、異常気象対応としての複数産地の確保、物流構造の見直しなど、様々な議題について、活発な意見交換が行われました。



【札幌セミナー会場】

### ②東京会場

平成27年3月10日、「第24回 加工・業務用野菜産地と実需者の交流会」(国産野菜の契約取引マッチング・フェア in 東京)を東京国際フォーラム地下1階 展示ホールにおいて開催し、その会場内に設置したセミナー会場(定員130名/参加者192名)で、産地側及び実需者側からの話題提供の後、一般社団法人 JC総研 6次産業ボランティアプランナーの仲野 隆三コーディネーターと、産地側2名(こと京都株式会社 代表取締役社長 山田 敏之 氏、株式会社Tedy 代表取締役社長 林 俊秀 氏)

実需者側2名(株式会社 ケーアイ・フレッシュアクセス 常務執行役員 相原 徹 氏、倉敷青果荷受組合 カット野菜部営業課長 寺田 幸司 氏)によりパネルディスカッションが行われ、加工・業務用野菜や契約栽培に関する産地側及び実需者側から見た悩み、課題、要望について、これらの問題解決の議論が行われました。なお、パネルディスカッションには、あべ農林水産副大臣も特別参加され熱心に聴講されました。



【東京セミナー会場】

## 2. 産地との連携推進及び販路開拓に向けた支援

### (1) 開催結果概要(日時、場所等)

- ◆ 共 催 (独)農畜産業振興機構、野菜ビジネス協議会
- ◆ 日 時 ●平成26年8月26日(札幌会場)  
●平成27年 3月10日(東京会場)
- ◆ 場 所 ●札幌会場: サッポロファクトリーホール(西館)  
北海道札幌市中央区北2条東3丁目  
●東京会場: 東京国際フォーラム 展示ホール  
東京都千代田区丸の内3-5-1
- ◆ 来場対象者 ※全国に契約野菜の販路をお求めの方、国産野菜の契約取引先をお探しの方
- ◆ 参 加 者 ●札幌会場: 450名、東京会場: 1,150名(両会場共、出展者を含まない)
- ◆ 出 展 者 ●札幌会場: 67ブース(内野菜ビジネス協議会3ブース)  
●東京会場: 128ブース(内野菜ビジネス協議会10ブース)
- ◆ 出 展 料 無料



【札幌会場内】

出 展

野菜ビジネス協議会  
青果物カット事業協議会  
協議会会員

野菜ビジネス協議会  
コーナー



【札幌会場ブース】



【東京会場内】



【東京セミナー会場】

## (2) 野菜ビジネス協議会 出展者状況(2会場)

### ①札幌会場

出展者会員企業(含む、青果物カット事業協議会会員企業)	
みかど協和(株)	デリカフーズ(株)
協議会事務局	

### ②東京会場:

出展者会員企業(含む、青果物カット事業協議会会員企業)	
こと京都(株)	ナラサキ産業(株)
(株)五條市青ネギ生産組合	富士食品工業(株)
横浜市場センター(株)(横浜丸中青果(株))	みかど協和(株)
(株)健食	サンポー食品(株)
東京デリカフーズ(株)	協議会事務局

## (3) 各会場開催結果の概要

### 【札幌会場】

平成26年8月26日、「第23回 加工・業務用野菜産地と実需者の交流会」(国産野菜の契約取引マッチング・フェアin 札幌)をサッポロファクトリーホール(西館)内において開催しました。平成26年度第1回目の開催は、北海道で初めてとなる本交流会では、出展者は67団体、来場者は450名と多数の方にご来場いただきました。

### ●交流会(札幌会場)の内容は下記のとおり。

#### 1. 出展者数

67の事業者・団体が出展、本交流会には、地元・北海道からの出展者は39で、全体の約6割を占めました。遠隔地の北海道にも関わらず、全国各地から67の事業者・団体が出展し、このうち初出展者は34(うち、生産者・生産者団体21、流通・加工業者8)でした。

#### 2. 来場者数

来場者数450名(うち、量販店・小売37、卸・仲卸・流通166、食品製造・加工・メーカー49、中食・外食等41、マスコミ44)

#### 3. 特別商談会コーナー

マッチングの成果をさらに後押しするため実施している「特別商談会」(野菜ビジネス協議会及び青果物カット事業協議会の会員企業等と出展者を結びつける、個別・予約制の商談会)には、実需者5社に対し16の生産者等が参加し、27件の商談が精力的に行われました。



【特別商談会】

#### 4. 加工・業務用野菜対策についての説明会

セミナー会場では、農林水産省の担当官と連携しながら、農畜産業振興機構職員により、リレー出荷の特例措置を含む契約野菜関連事業について、説明会を行いました。

## 5. 試食コーナー

出展者が持ち寄った「自慢の野菜」をサラダバー・ドリンクバー形式で来場者が自由に試食できるのが、この「試食コーナー」です。今回は、29の出展者が持ち寄った70種類近くの野菜等が順次陳列、提供され、多彩な種類のサラダや野菜ジュースを求める来場者で、終日盛況でした。同コーナーについては、来場者から「直接試食して、生産者とお話してきた」といった声が聞かれるなど、商談の足掛かりとしてご利用いただけました。



【試食コーナー】

## 6. 来場者からの交流会に対する主な意見(来場者アンケートから)

回答数382件のうち、95%の方から「役に立った」との回答があり、高い評価を頂きました。その理由としては、「情報交換ができた」(59%)、「参考となる情報が得られた」(48%)、「興味を持った相手先があった」(37%)といった声が多く寄せられました。

### 【良かった点今後の改善、要望等】

- ・さまざまな業者、研究者、生産者等が生き生きと交流しているのがよかった。
- ・全体的にディスプレイに工夫が感じられ、参考になった。
- ・高品質な野菜をしっかりと作っており、商談が進められた。
- ・新しい仕入先が見つかった。
- ・ほかの地方でも実施してほしい。
- ・もっと出展者数を増やしてほしい。
- ・新メニューや、新しい利用法なども提案してほしい。
- ・見本やサンプルの展示があると良い。
- ・不在のブースがあった。

### 【東京会場】

平成27年3月10日「第24回 加工・業務用野菜産地と実需者の交流会」(国産野菜の契約取引マッチング・フェアin 東京)を東京国際フォーラム展示ホールにおいて開催しました。

今回は、全国各地から128の事業者・団体が出展し、このうち初出展者は41(うち、生産者・生産者団体:18、流通・加工業者:14)でした。

また、昨年に引き続き、隣接会場での「JAグループ国産農畜産物商談会」との同日開催の相乗効果もあり、多数の来場者を迎えるなかで、各ブースでは商談や情報交換が行われるなど、終日賑わいをみせました。

### ●交流会(東京会場)の内容は下記のとおり。

#### 1. 出展者数

128(うち、生産者・生産者団体:58、流通・加工業者:40)

#### 2. 来場者数

1,150名(うち、量販・小売:122、卸・仲卸・商社:370、中食・外食等:137、食品製造・加工業:119、マスコミ:21)

### 3. ブースの内容

昨年度に引き続き3回目の東京国際フォーラムでの開催では、1,150名の来場者が終了時間間際まで途切れることなく、各ブースが終日、賑わいました。

野菜ビジネス協議会コーナーにおいても、事務局を含めた10ブースにて各出展企業が工夫を凝らした展示を行い、終日たくさんの来場者対応に追われた交流会になりました。



【野菜ビジネス協議会コーナー】

### 4. 特別商談会コーナー

マッチングの成果をさらに後押しするため実施している「特別商談会」(野菜ビジネス協議会及び青果物カット事業協議会の会員企業と出展者を結びつける、個別・予約制の商談会)には会員企業の実需者7者に対し、27者の生産者等が参加し、前年を上回る68件の個別商談が精力的に行われました。



【特別商談会コーナー】

### 5. 加工・業務用野菜対策についての説明会

セミナー会場では、農林水産省の担当官と連携しながら、農畜産業振興機構職員により、リレー出荷の特例措置を含む契約野菜関連事業について、説明会を行いました。

### 6. 来場者アンケート結果(来場者数:1,150名、回答数:601名)

回答数601件のうち、90%の方から「役に立った」との回答があり、高い評価を頂きました。その理由としては、「情報交換ができた」(62%)、「参考となる情報が得られた」(47%)、「興味を持った相手先があった」(37%)、新たな取引ルートが出来た、又はできそうである(13%)といった声が多く寄せられました。(※役に立ったと回答があった方からの複数回答)

#### ●来場者からの交流会に対する主な意見

##### <良かった点>

- ・ 知りたい産地情報や商品情報が得られた。
- ・ 産地、業種ごとの対応の違いなどを確認できた。
- ・ 商品情報や品種が豊富で、楽しみが増えた。
- ・ 売れ筋や新品種・試験品種の動向がよくわかった。
- ・ セミナー・パネルディスカッションの内容が非常に良かった。



【セミナー・パネルディスカッションを熱心に聴講される、あべ農林水産副大臣】

##### <今後の改善、要望等>

- ・ 試食が不可で残念、試食がないと商品の良さがわからない。
- ・ 各地での開催を持続して欲しい。
- ・ 青果物主体のマッチングは数少ないので、今後もこのような機会を増やして頂きたい。
- ・ ブース間でのコラボ的な要素があると盛り上がると思う。
- ・ ブース出展者はもっと声掛けした方がよいのでは。